

阪急西宮スタジアム跡地開発計画について

阪急電鉄では、阪急西宮スタジアム跡地における開発計画の検討作業を鋭意進めておりますが、その概要についてお知らせいたします。

なお、詳細につきましては、今後、行政機関等と協議を進めてまいります。

1. 基本方針

阪急西宮北口駅周辺においては、西宮市による都市基盤整備が進められるなか、阪神間の芸術・文化の拠点として「兵庫県立芸術文化センター」が10月22日に開業したほか、これに合わせて、駅と芸術文化センターをつなぐ歩行者デッキや当社の駅前商業施設である「北口南阪急ビル」が10月17日に営業を開始するなど、同駅を中心とした新たな街づくりが進められています。

当社では、これらの街づくりと連携し、更なる都市機能の充実と、阪神間の新たな交流拠点の創造を目指して、以下のコンセプトのもと、阪急西宮スタジアム跡地で魅力あるショッピングセンターの開発に取り組んでまいります。

阪神間における鉄道、道路の結節点であり、かつ、西宮市、芦屋市、宝塚市、神戸市東灘区などに代表される山手住宅街を後背地とするポテンシャルの高い立地特性を活かして、これら広域なエリアを商圈とし、上質で都市的な新しいライフスタイルを提案する日本最大級のショッピングセンターを目指します。

阪急百貨店を核店舗とし、さらに阪急東宝グループによるシネマコンプレックスの導入を図るなど、グループの総力を結集して、商業、エンタテインメント機能の充実を目指します。

周辺環境に配慮し、屋上部分に商業空間と有機的に結合したオープンガーデンや、巨大な吹き抜け空間に面して自然光を感じられるインナーモールゾーンを設けるほか、一部外壁面の緑化など、建物内外においてオープンスペースの創出や緑化に努めることにより、地域にお住まいの皆様および来街者の方々に憩いと賑わいのある快適な時間と空間を提供してまいります。

2. 商業施設の概要

名 称	阪急西宮ショッピングセンター（仮称）
所 在 地	西宮市高松町100番他
交 通	阪急西宮北口駅より徒歩3分
開発対象面積	約90,000㎡



(1) 施設概要

建物階層	地上4階建、一部5階建(立体駐車場を除く)
賃貸面積	約100,000㎡
店舗数	約250店舗
駐車場台数	約3,000台

(2) 核店舗の概要

百貨店

出店者 株式会社阪急百貨店

店舗面積 約25,000㎡

シネマコンプレックス(予定)

出店者 東宝株式会社、オーエス株式会社

規模 12スクリーン、約2,200席

総合スーパー(予定)

出店者、規模未定

3. スケジュール

2006年度下期 着工(目標)

2007年度下期 開業(目標)

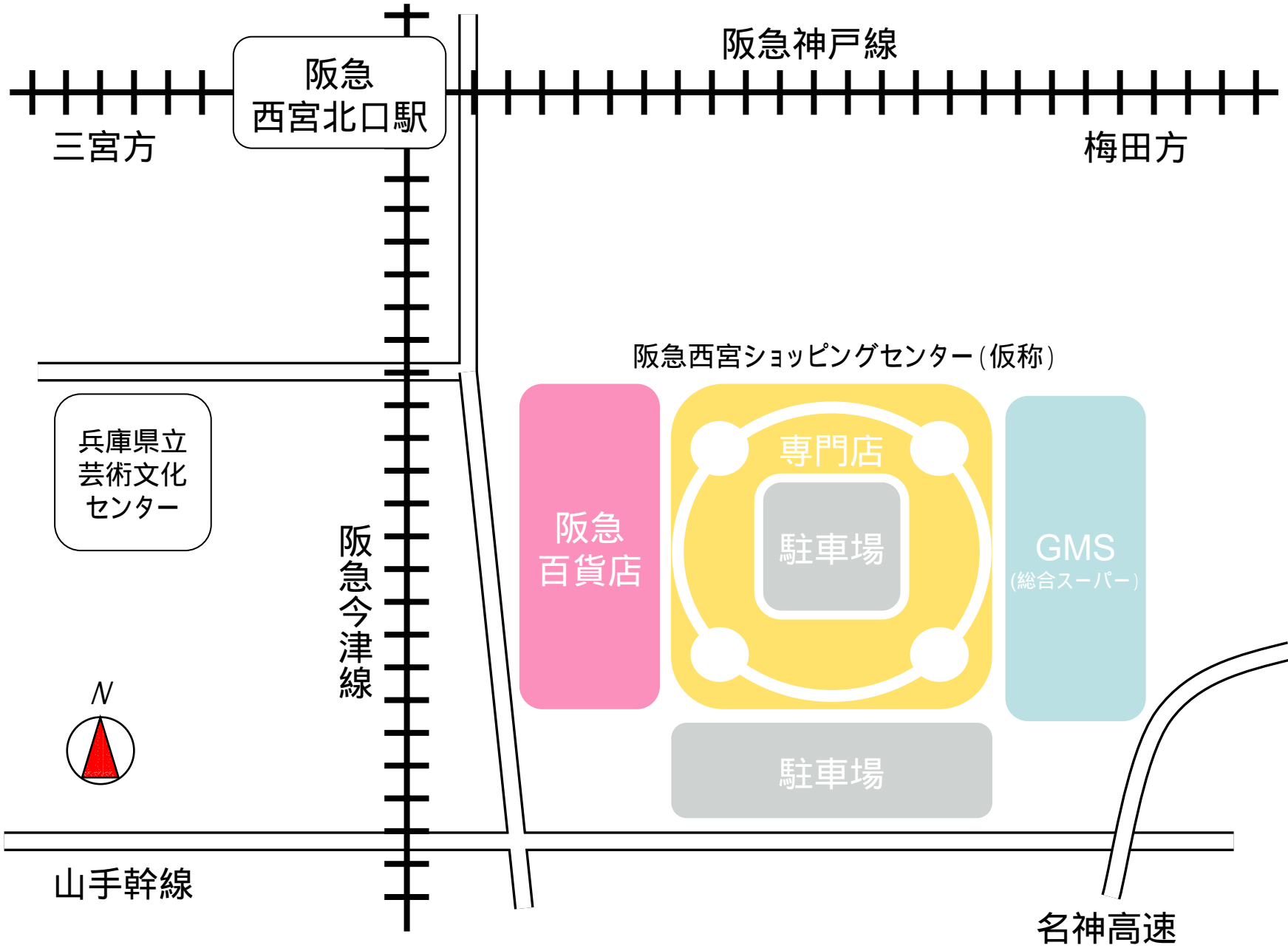
関係機関等との協議により変更となる可能性があります。

以上

【添付資料】 施設配置イメージ図、
「阪急西宮ショッピングセンター(仮称)」イメージパース
(エントランス付近、屋上オープンガーデン)

【ニュースリリース配布先】 青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ

阪急西宮ショッピングセンター(仮称)施設配置イメージ図





「阪急西宮ショッピングセンター（仮称）」イメージパース
エントランス付近



「阪急西宮ショッピングセンター（仮称）」イメージパース
屋上オープンガーデン